
【農大生が4 Hクラブ員の経営現場を訪問しました！】

三重県農村青少年クラブ連絡協議会（以下、「県連4 Hクラブ」）では、三重県農業大学校との交流を深めることを目的に、クラブ員が関わる農業の現場に農大生を招く「視察研修」を10月7日（木）に実施しました。

視察研修には、農業大学校の1年生32名が参加し、南伊勢町のカンキツ生産と浜島町のハウスメロン生産の現場を視察しました。現地の説明は、県連4 Hクラブの役員や伊勢志摩地区4 Hクラブのメンバーが手分けをして、丁寧かつ熱心な案内をしました。参加した学生は、満天の秋空を満喫しながら、クラブ員の説明に聴き入っていました。

研修後のアンケートでは、「実際の生産現場が見れて勉強になった」「農家の顔が見える内容で良かった」など好意的な意見が多く並びました。一方で、「自分の専攻分野が聴きたい」などの指摘もあり、視察方法の課題も見えてきました。

県連4 Hクラブでは、農大生との交流を進める中で、就農への興味を高めてもらい、将来的に4 Hクラブのメンバーとなってもらうことを目指して、今後も活動を進めていきます。



（説明する4 Hクラブ溝口会長）（メロンの説明をする川口さん）（メロンもいただきました）